

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	35	消防訓練も防犯訓練は実施しているが、特養が主で働くスタッフが少いのでグループホーム独自の訓練を行う。	<ul style="list-style-type: none"> グループホーム主体での防犯訓練の実施。 地域の府が参加できるしくみ作り。 	<ul style="list-style-type: none"> 合同訓練の場合でもグループホーム独自のコミュニケーションを実施。 平日だけでなく、土日祝日の開催を行う。 	12ヶ月
2	13	職員から認知症について学ぶ機会、その意見があったため、できる限り認知症に関する研修を行う。	<ul style="list-style-type: none"> 小人数単位での認知症の勉強会を開催しレベルアップを図る。 家族の市にも認知症理解講座を開催する。 	<ul style="list-style-type: none"> 認知症の勉強会の開催。 家族が集う場をもちきり、積極的に関係提供を行う。 	12ヶ月
3	48 49	利用者の方のレベルが年々低下しているため(重度化しているため)、役割の支援や外出の支援が思うようにできていない。	<ul style="list-style-type: none"> できる範囲で役割を分けるように支援する。 小人数でも外出できる場を支援する。 	<ul style="list-style-type: none"> 時間がかわらなくても見守りを行うことができるように取り組む。 ホームの近くでもいいので(散歩など)できる限り外出する時間を設ける。 	12ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。